

株式会社 西京銀行

2019年3月期 第3四半期 決算報告



2019年3月期 第3四半期 業績ハイライト（単体） ……P. 2

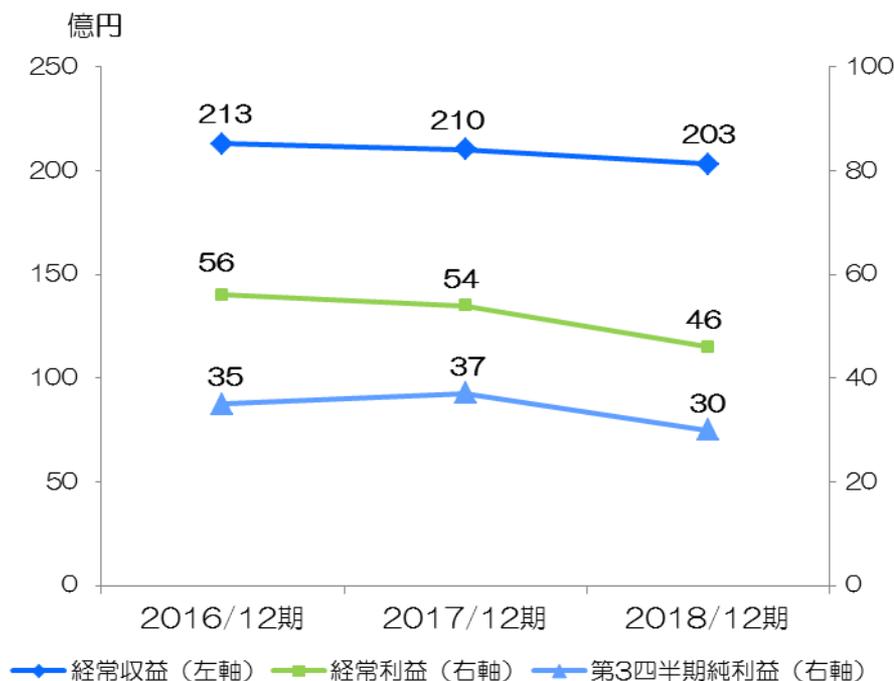
地方創生に向けた取組み ……………P. 9
（金融仲介機能のベンチマークについて）

2019年3月期 第3四半期 業績ハイライト（単体）

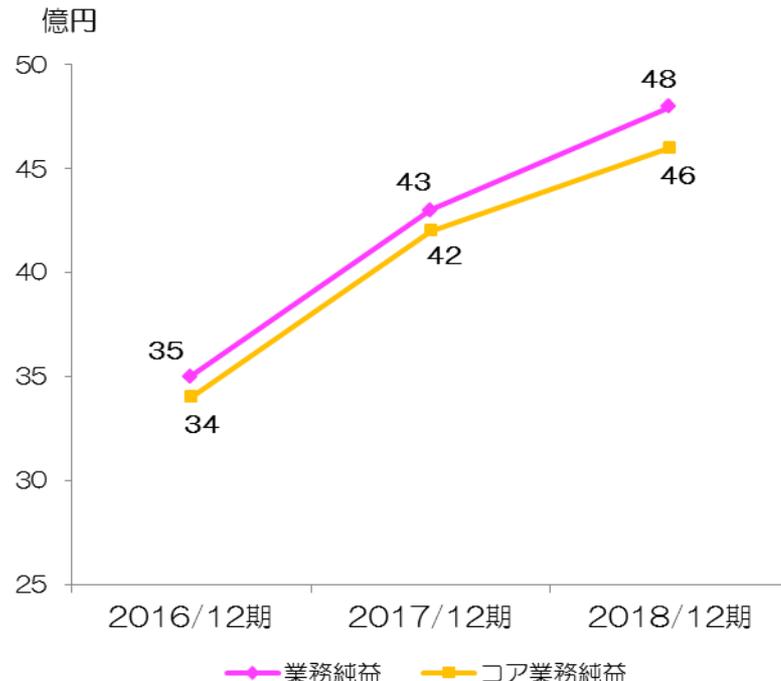
- 預金残高対前年同期比 **625億円増加** 貸出金残高対前年同期比 **1,223億円増加**
- 第3四半期決算においてコア業務純益は **過去最高益を更新**
- 開示債権比率は **過去最も低い1.07%**

- 市場環境の影響を受けた有価証券関係損益の減少に伴い、経常収益は203億円、経常利益は46億円、第3四半期純利益は30億円を計上
- ただし、業務純益は対前年同期比4億円増加し48億円、コア業務純益は対前年同期比4億円増加し46億円となり、**融資や手数料収益など銀行本来の業務で得た利益は増加**
- 第3四半期決算においてコア業務純益は**過去最高益を更新**

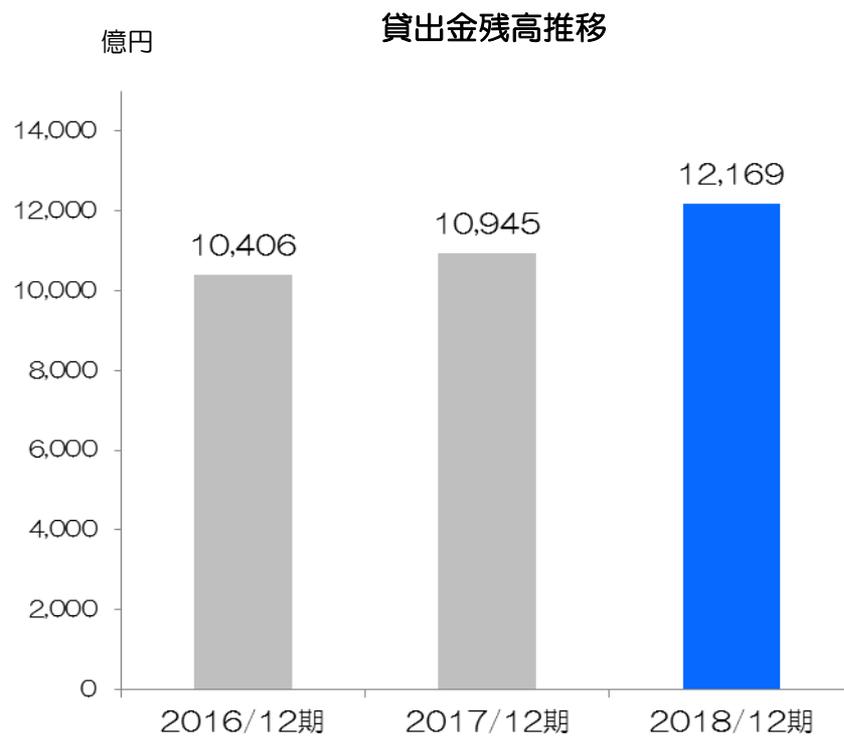
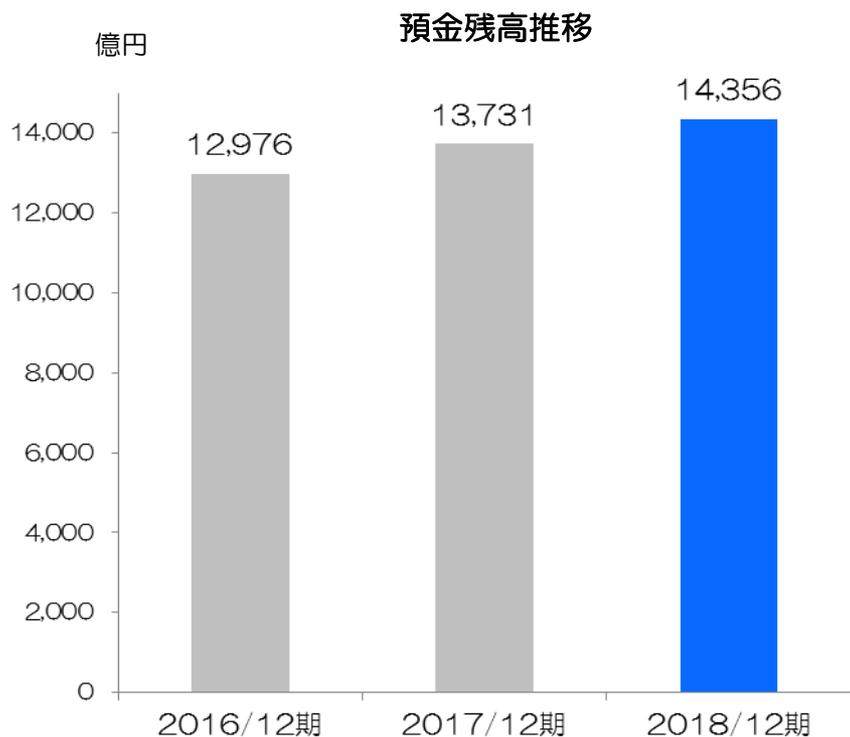
経常収益・経常利益・第3四半期純利益推移



業務純益・コア業務純益推移

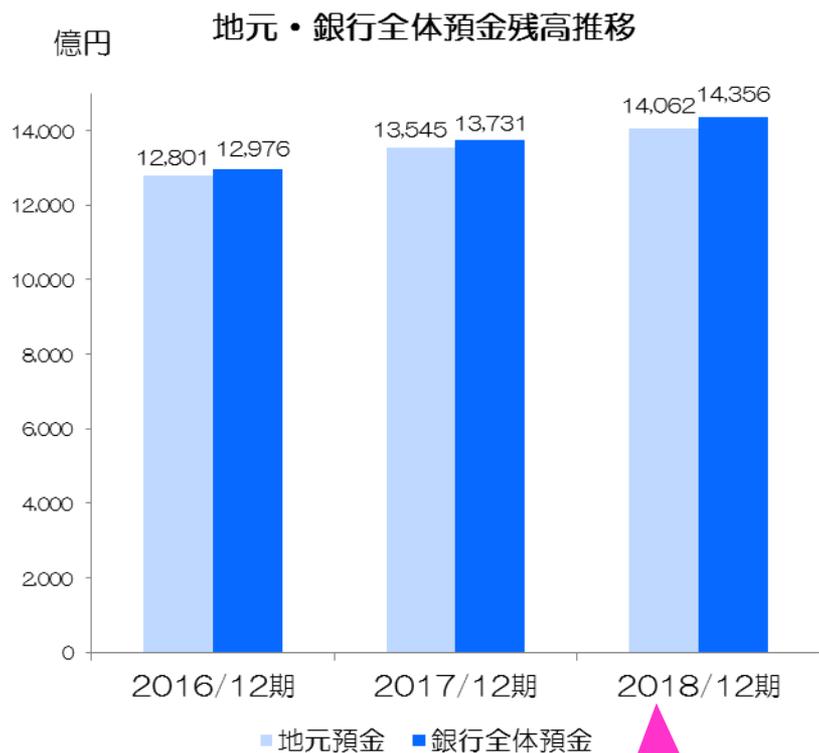


- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県を中心に対前年同期比**625億円増加**し、1兆4,356億円
- 貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出を中心に対前年同期比**1,223億円増加**し、1兆2,169億円

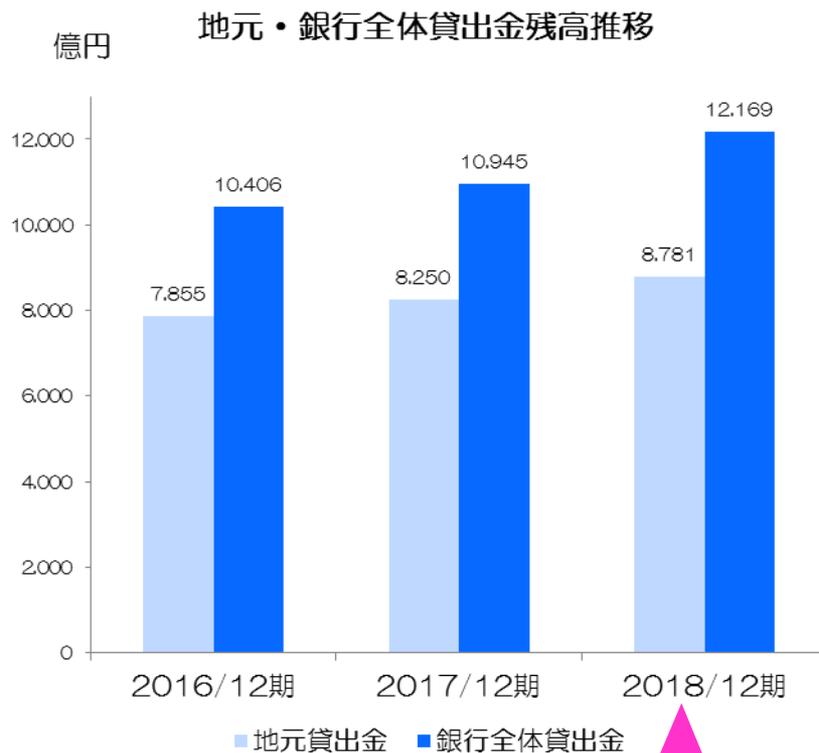


●地域の皆さまからお預かりした大切な預金を、資金を必要とされている地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く『資金の地域内循環』を推進

●預金は**ほぼ100%**を地元でお預かりし、貸出金は**70%以上**を地元の皆さまにご利用頂いている

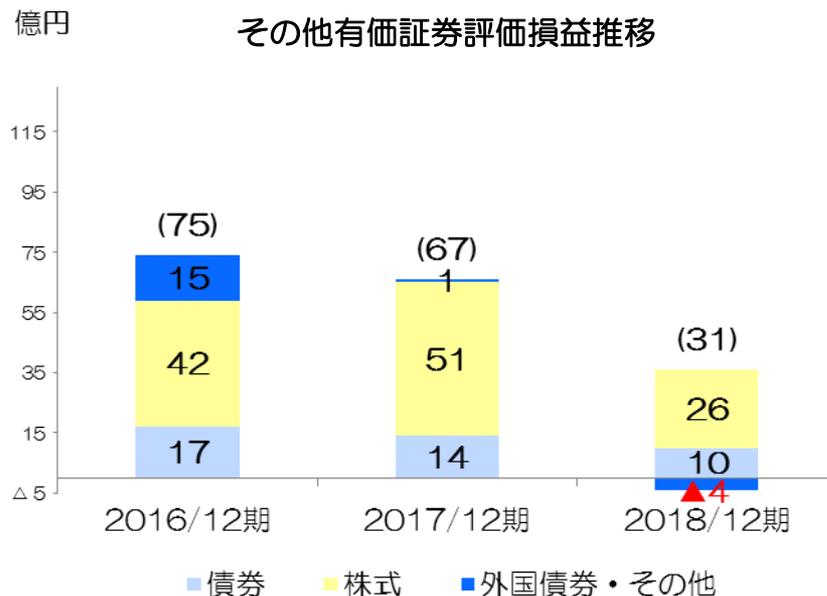
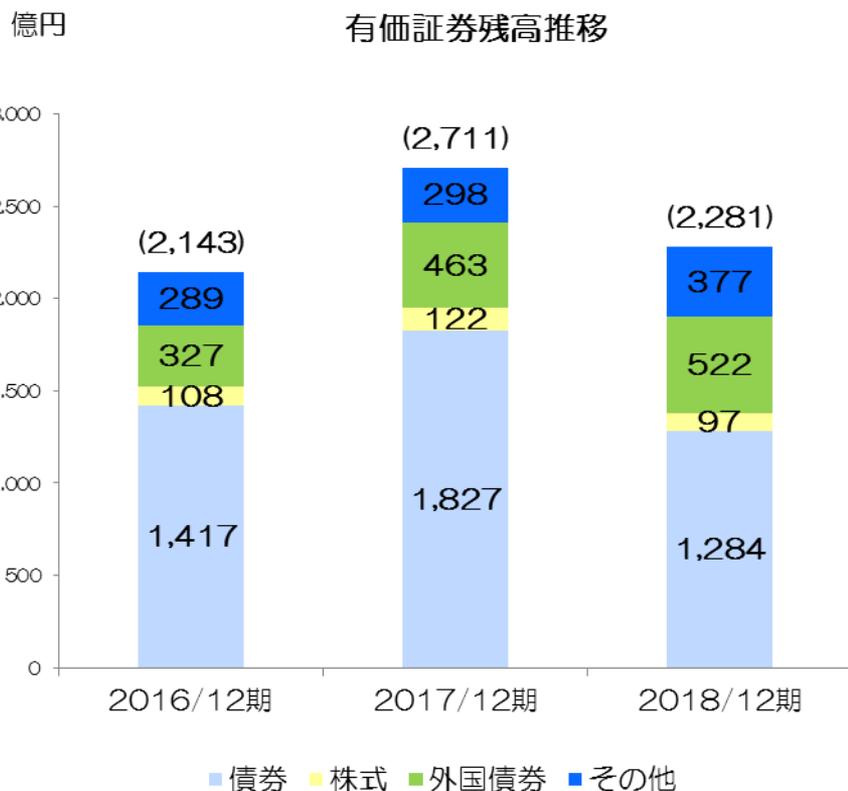


地元割合
97.9%



地元割合
72.1%

- 有価証券運用は債券を中心に安全性を重視する一方、修正デュレーションは金利リスクに備え短期化に努めており、4年を下回る水準を維持
- その他有価証券評価損益は減少傾向であるが、当行では、積極的な株式持ち合い解消方針のもと、政策株式の売却を推進



修正デュレーション推移（国内債券）

2016/12期	2017/12期	2018/12期
3.26年	3.67年	3.73年

- 厳格な資産査定に基づく早期の対応により、開示債権比率及び開示債権額は減少
- 開示債権比率は、対前年同期比0.27ポイント減少し、**過去最も低い1.07%**

金融再生法基準での開示債権比率

2016/12期 1.51% → 2017/12期 1.34% → 2018/12期 1.07%

部分直接償却前開示債権比率

2016/12期 1.86% → 2017/12期 1.63% → 2018/12期 1.36%

開示債権額

2016/12期 159億円 → 2017/12期 147億円 → 2018/12期 131億円

地方創生に向けた取組み

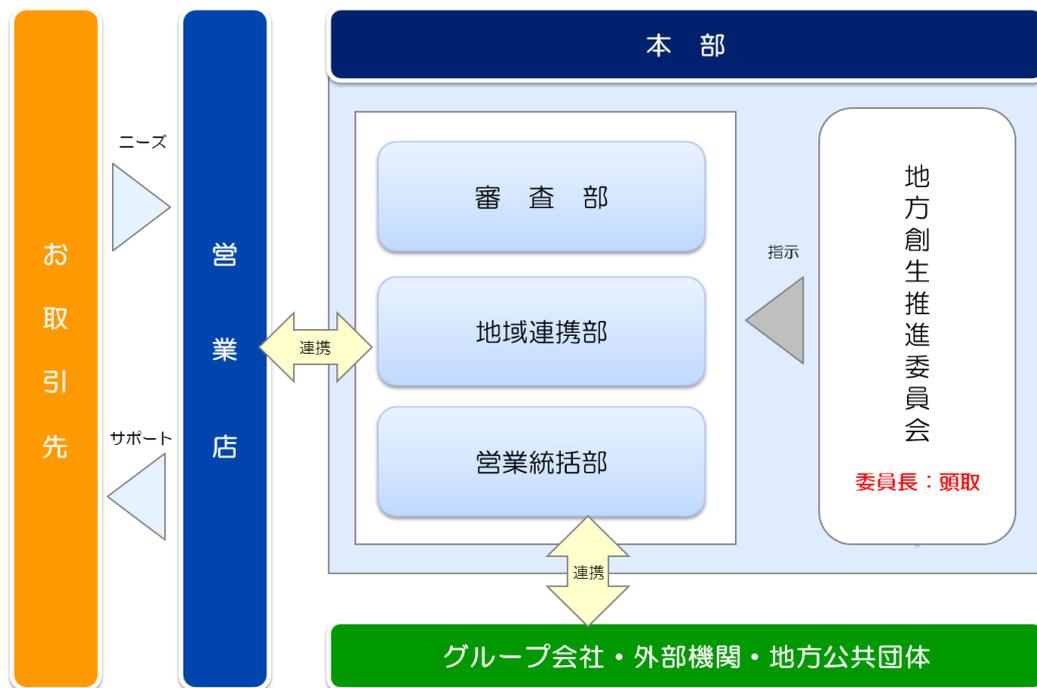
(金融仲介機能のベンチマークについて)

- ◆ 金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、当行が積極的に推進を図っていく取組みを開示しており、該当のものには、 と表示しております。

お客様の経営サポートに関する取組み

- 地域経済の健全な発展に貢献するため「地方創生推進委員会」を中心とした推進体制を整備
- きめ細かい経営サポートにより、**全取引先数※は昨年より4.6%増加**（※取引先…事業所融資先）

～地方創生推進体制～



ベンチ
マーク

● 全取引先数と地域の取引数の推移

▶ 全取引先数

2017/12期	2018/12期	前年同期比
17,836先	18,664先	+4.6%

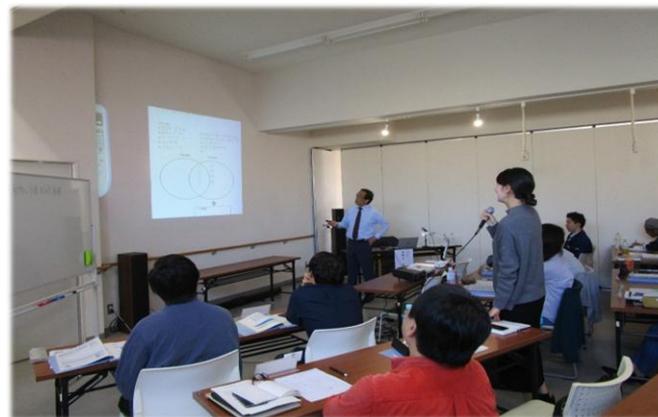
▶ 地域（山口県）の取引先数

2017/12期	2018/12期	前年同期比
11,742先	12,039先	+2.5%

創業・新規事業所開拓サポート

●第7期『さいきょう実践創業塾』開催

- 地域での創業にチャレンジする皆さまを積極的に応援
- 全7回のプログラム構成で創業計画から実現まで全面サポート
- 外部専門家との連携による充実したフォローアップ体制
- 受講者：12名 累計：153名受講（うち47名が創業）



成長分野におけるサポート

●第9回『DISCOVER YAMAGUCHI』の開催

- 海外展開を目指す事業者さまと留学生の就職マッチング
- グループディスカッションによる交流会
- これまでに4名の採用が実現
- 参加企業：6社 参加留学生：13名





●担保・保証に依存しない融資の対応状況
(2018年12月末)

▶地元中小企業与信先のうち、無担保融資の割合

無担保融資先数	無担保融資残高
78.9%	44.2%

▶地元中小企業与信先のうち、
根抵当権を設定していない与信先の割合

根抵当権未設定割合
80.4%

▶中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き
融資額の割合、100%保証付き融資額の割合

信用保証協会保証付き 融資残高	100%保証付き 融資残高
12.2%	9.3%



●経営者保証に関するガイドラインの対応状況

経営者保証に関するガイドラインとは、

中小企業の経営者等の個人保証における合理的な保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うための準則を定めたもの。

(2018年4月～12月)

	実績
新規融資に占める経営者保証に 依存しない融資の割合	82.6%
- 新規で融資した件数	4,766件
- 新規に無保証で融資した件数	3,941件
既存保証契約を解除・変更（減額）した 件数	150件
保証債務整理の成立件数	0件

*信用保証協会等保証付き融資を除く

店舗のリニューアル

●ゆとりを持って金融相談していただける店舗へ

- 出入りがしやすい広く停めやすい駐車場の確保やお客さまロビー面積の拡張
- 待ち時間を快適に過ごせるよう無料ドリンクサーバーを設置
- セミナールームを新設し、お客さまのコミュニケーションの場を提供

●『湯田支店』新築移転オープン（2018年10月9日）

●『恩田支店』新築移転オープン（2019年1月15日）



店舗外観



ゆとりのある広いロビー



入口の広い駐車場



セミナールーム

～今後の展開～

虹ヶ浜支店（2019年2月18日）、幡生支店（2019年3月11日）をリニューアルオープン

地域の復興支援

● 寄付金付周防大島町応援定期預金の発売

— 大島大橋の損傷に伴う被害の復興支援を目的に発売

— お預入れ総額の0.01%相当額（最大500万円）を、周防大島町へ寄付

寄付金付
(最大500万円)

周防大島町 応援定期預金

＼がんばろう周防大島町!／

取扱期間 2018年12月14日(金)～2019年2月28日(木)

取扱店舗 全店 (ただし、アクト支店、福岡支店を除く)

預入期間1年

年0.20%

(税引前)

周防大島町にお役立ていただくことを目的に、本定期預金のお預入れ総額のうち、累計500億円に達するまでの金額について、その0.01%相当額(最大500万円)を当行が周防大島町へ寄付いたします。

詳しくはお近くの窓口 または
☎ 0120-240-606

までお電話にお問い合わせください。
(後払料無料)9:00～17:30(銀行窓口休業日も除く)

あなただけのために
西京銀行

寄付金付
(最大500万円)

周防大島町 応援定期預金

＼がんばろう周防大島町!／

ご利用いただける方	個人・法人のお客さま		
お取扱店舗	全店(ただし、アクト支店、福岡支店を除く)		
お預入れ金額	10万円以上 ※上限なし(単位1円)		
適用金利	個人のお客さま	1年もの	年0.20%(税引前) 年0.159%(税引後)
	法人のお客さま	1年もの	年0.20%(税引前) 年0.169%(税引後)
寄付金の取扱	本定期預金にお預入れ総額のうち、累計500億円に達するまでの金額について、その0.01%相当額(最大500万円)を当行が周防大島町へ寄付いたします。		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・お利息には、個人のお客さまは国税15.315%、地方税5%、法人のお客さまには国税15.315%の税金がかかります。 ・税引後の金利は源泉分離課税(※法人のお客さまは総合課税)が差し引かれた後の金利であり、小数点4桁以下を切り捨てて表示しております。 ・適用金利は初回満期日までとし、自働継続後は満期日におけるお預入金額・お預入期間に応じたスーパードラッグの店頭表示金利を適用します。 ・預金保険の対象です。ただし、当行へのお預入金額1,000万円までと、そのお利息につきましては同保険制度の範囲内で保護されますが、超過分は保護の対象とはなりません。 ・金融情勢等によりお取扱内容を変更する場合があります。 ・窓口にて説明書をご用意しております。 		

2018.12.14掲載

地域スポーツ

●日本赤十字社へACTカレーを贈呈

- ーファンクラブ会員特典のACTカレー1,200食を寄贈
- ー10～30代の献血協力者に配布される
- ー赤十字事業の普及を後押し



●「ベトナム代表女子バドミントンチーム」ホストタウン登録決定！

- ー東京オリンピック事前キャンプ地誘致に向け、下松市と連携
- ー2018年11月にベトナムバドミントン連盟が視察に来日し、合同練習やACTアリーナの紹介、選手同士で観光地を訪問するなど、交流を深めた

